

特集

筑波大学附属諸学校を巡る（第5回）

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 特集 筑波大学附属聴覚特別支援学校の「いま」 …… 03 ～ 05
- 筑波大学附属桐が丘特別支援学校の「いま」 …… 06 ～ 08
- 平成 28 年度 茗溪会地域組織表 …… 09
- 茗溪会 公開講座「花のある暮らしとエピソード」西川綾子 …… 10 ～ 11
- 平成 28 年「追悼のつどい」 …… 12
- 筑波大学学生活動支援事業 …… 13
- 日本サッカーの宗家「蹴球部」創部 120 周年 …… 14 ～ 15
- 平成 28 年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 16
- 平成 29 年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 17
- 季刊誌『茗溪』正月号に誌上交流広告掲載ご協力をお願い …… 17
- 茗溪・東西南北 …… 18 ～ 19
- 著書紹介 …… 19
- 筑波大学はいま …… 20
- 茗溪学園だより …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ～ 23
- 追悼録 …… 24
- 広報 …… 25
- 表紙のことば …… 25 ■ 編集後記 …… 25

茗溪

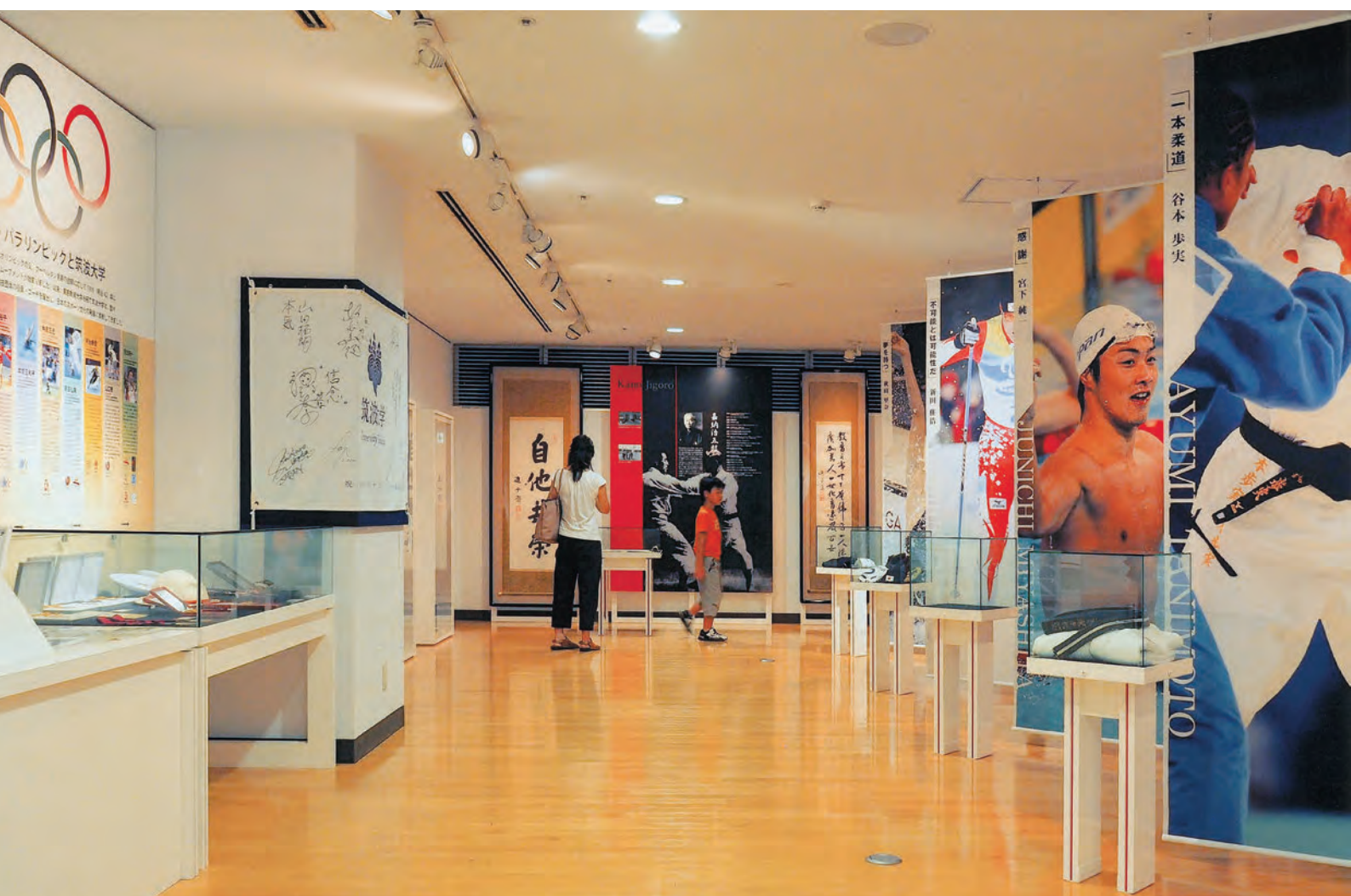


秋

2016

平成28年

no.1091



Juchheim
SEIT 1909

日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビル3F
TEL.03-5784-8831 (代表) FAX.03-5784-8832

KAIT

力と自信がつく教育で
「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

理事長 中部謙一郎

常務理事 河野 隆二(S47農)

監査室 矢野 正人(S53院修 農)(神奈川茗溪会 会長)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(同 副会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)



神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

追悼のつどい
平成28年9月3日(土)
於茗溪会館



来賓挨拶 稲垣筑波大学副学長



江田昌佑理事長の追悼の辞



一般社団法人 茗溪会「追悼のつどい」

公開講座 西川綾子先生
「花のある暮らしとエピソード」(P 10～11 参照)



西川綾子先生



活気ある会場風景

筑波大学附属諸学校を巡る(第5回)

筑波大学附属聴覚特別支援学校



国立臺中啓聰学校生徒との交流



パリ聾学校生徒との交流



幼稚園の遠足



筑波技術大学との高大連携講座

筑波大学附属桐が丘特別支援学校



授業の様子(2)



授業の様子(1)



運動会(リレー)



ボッチャ甲子園優勝

筑波大学附属聴覚特別支援学校の「いま」

筑波大学附属聴覚特別支援学校（筑波大学附属聾学校）が所在する千葉県市川市は、人口約48万人、千葉県の北西部にあり、西は江戸川を挟んで東京都に接し、南は東京湾に面しています。都心から20キロメートルの圏内に位置しているため、朝夕の交通機関には、都内に向かう通勤通学客が大勢います。また、市川市には日蓮宗法華経寺をはじめ、伝統ある神社が多く残されています。井上ひさし、北原白秋、東山魁夷、永井荷風ら文人墨客が暮らした街としても有名で、現在も著名な芸術家や文化人が数多く在住し、創作活動の拠点としています。

筑波大学附属聴覚特別支援学校（筑波大学附属聾学校）は、文化の薫り高い街、市川市の国府台（このだい）にあります。

1 沿革

本校の歴史は、明治8年、古川正雄・津田仙ら6名が、楽善会（らくぜんかい）を組織し、盲聾者の教育を計画したことから始まります。

明治12年、東京築地に楽善会訓盲院の建物が完成し、翌年には盲生2名、聾生2名が入学したと記録にあります。明治18年には文部省直轄学校となりました。

昭和21年、千葉県市川市国府台にあった旧東部第85部隊跡に移転を決定し、昭和22年、国府台の校舎で開校式を行いました。

その後、国立学校設置法等の改正で校名が変わりました。

昭和33年には東京教育大学教育学部附属聾学校、昭和53年には筑波大学附属聾学校、平成19年4月より筑波大学附属聴覚特別支援学校と改称し、現在に至っています。本校は、全国にある聴覚特別支援学校としては、唯一の国立大学附属学校です。今年度の幼児児童生徒数は246名、全国の聴覚特別支援学校の中で最も多い数の子どもたちが在籍しています。自宅から通学できない子どもたちは寄宿舎で生活しています。



2 概要と使命

本校は、聴覚に障害がある乳幼児から高等部専攻科生まで、年齢の幅が広い子どもたちを対象に「一貫した教育」を行っています。聴覚を活用し、個々の子どもたちの状態と発達段階に応じた指導法やコミュニケーション方法を駆使し、通常の学校と同等の学力水準「対応の教育」をめざしています。

また、筑波大学の教育や研究に協力する附属学校として、3つの使命を負っています。

使命の1つ目は、「聴覚障害教育の可能性の追求」です。教職員一人一人の高い志と熱意、指導技術が、この使命を支えています。2つ目は、「実践的研究の推進と発信」です。具体的には、文部科学省や関東地区聾教育研究会が主催する研究会の開催、季刊誌「聴覚障害」の発行、研究会や学会での研究・実践発表などです。3つ目は、「教育実習及び現職教育」の実施です。教育実習生や介護等体験学生を指導し、全国から集まる現職教員や海外からの留学生等も数多く受け入れています。

校内の組織は、幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科、高等部専攻科（造形芸術科・ビジネス情報科・歯科技工科）、寄宿舎の6つの組織に分かれて運営を行っています。教職員の数は、非常勤職員等も含めると約140名。指導者の数が充実していることで、子どもたち一人一人のニーズを的確に把握し、きめ細やかな指導を行うことができています。

3 教育目標と学部を紹介

本校は、進んで自分の能力を開発し、広い視野に立つて文化的生産的活動の発展に寄与できる人間の育成に努めることを目標としています。

この目標を達成するため、幼稚部では話しことばを通して日本語を習得させることに努め、小学部中学部では聞こえる子どもたちと同じ教育課程によって教科の学習を進め、同年齢の聞こえる子どもと同等の学力が維持できるように努めています。高等部では、卒業後の進路を

考慮に入れ生徒の能力と適性に応じた教育課程によって、大学や専攻科への進学、就職の準備とそれぞれの適性に応じた教育を行っています。



◆幼稚園

幼稚園部は、0歳から2歳児までを教育対象とする乳幼児教育相談部と3歳から5歳児を教育対象とする部署とに分かれています。乳幼児教育相談は、通称「けやきルーム」と名付けています。

「けやきルーム」に通う乳幼児は、在籍児に入っていますが、年間約50組の親子に支援を行っています。



近年、新生児聴覚スクリーニング検査の普及により、乳幼児の難聴が生後間もなく発見されるケースが増えました。心理的に不安定になりがちな母親への細やかな育児支援が今まで以上に大切になりました。

「けやきルーム」を含め幼稚園部では、母親が我が子の障害を受容しながら、安定した育児ができるように、明るく暖かい雰囲気の中での教育活動を行っています。

◆小学部

小学部では、聴覚障害からくる言語発達の遅れを克服するための指導に重点をおいています。知的発達を促し、心身ともに調和のとれた人間形成をめざすことが小学部の教育目標です。

この教育目標に迫るため、「言語力を伸ばす」「学習の仕方を身につけさせる」「自律的な生活態度を身につけさせる」を重点事項としています。学校のシンボルでもある大きなケヤキの木の下で、子どもたち、教員、保護者が毎日こつこつと地道な努力を重ねています。

◆中学部

中学部では、指導の重点目標として「自主的・自立的態度を育てる」「社会に適応できる人間性を養う」「教科指導の充実をはかる」「心身の調和的発達を促す」「コミュニケーション能力を高める」の5つをあげています。

中学部の教科指導は、学習指導要領にのっとり、読み書き能力の育成をねらいとしています。授業では、学習の定着度を確認し、生徒の感じたことを文章表現する学習活動を積極的に取り入れるようにしています。

◆高等部普通科

高等部には、本校中学部からの進学者に加え、全国の特別支援学校（聾学校）や普通中学校から生徒が入学しています。今年度は、72名の生徒が在籍しています。

高等部普通科は、体育祭・文化祭の学校行事や部活動等を通して、協力し合う経験を数多く積み重ねています。教員は、生徒が自分自身の興味・関心や適性を考え合わせ、進路選択できるように指導しています。卒業する

生徒のほとんどは、一般の大学や本校の専攻科に進学します。自ら学ぶ意欲と社会に主体的に関わる力を持った人間の育成をめざしています。

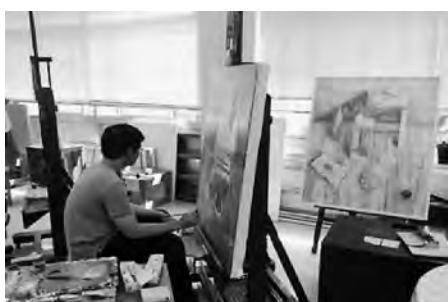
◆高等部専攻科

高等部専攻科には、2年課程の造形芸術科とビジネス情報科、3年課程の歯科技工士の3つの学科があります。造形芸術科の授業は、実習を中心に進められるとともに、少人数制の徹底した指導を行っています。

校外見学や研修旅行など、広い視野を身につける機会を多く設定したカリキュラムになっています。

ビジネス情報科の特徴は、就労に役立つ資格試験取得の指導に力を入れているところです。企業訪問や職場実習、卒業生の経験やアドバイスを積極的に取り入れるなど、具体的にできめ細やかな進路指導を行っています。

歯科技工科は、歯科技工士の養成機関です。入学した生徒のほとんどは歯科技工士の国家試験に合格し卒業していきます。卒業生の中には、国際アピリンピック歯科技工競技において金賞（最高位）を獲得した例もあり、数多く有能な歯科技工士を輩出しています。



◆寄宿舎

寄宿舎には、中学部から高等部専攻科までの子どもたちが生活しています。寄宿舎では、全国から入学してく

る子どもたちの健康を管理し、社会性の伸長をはかるために支援を行っています。

毎年行われる寮祭は、舎生が楽しみにしている行事の1つです。寄宿舎生は保護者に劇を披露したり、ごちそうをいただいたりなど、寄宿舎全体が盛り上がりします。

寄宿舎では、子どもたちの夢の実現のあとおしを懸命に行っています。

4 学校行事（体育祭と文化祭）

毎年2学期に実施する体育祭と文化祭は、学校全体で取り組む大きな行事です。子どもたちのテンションも高くなり、保護者、卒業生、地域の方々、大学生や他校の生徒を交えて大いに盛り上がりします。

子どもたちはこれらの行事を通して、協力することの大切さや表現することの楽しさを学んでいます。



5 教育活動のグローバル化をめざして

筑波大学附属学校教育局は、各附属学校に対し、児童生徒及び教師の国際交流活動を推進することを求めています。幼児児童生徒が、個々の発達に応じて、自国や他国の文化を理解し、大切にできる態度を養うとともに、積極的に外国の人とコミュニケーションをとる態度を養う

こと、教師は、自国の文化とともに他国の文化を尊重しながら、学校全体の国際化を図り、附属として日本や世界のためにできることを考えることがその趣旨です。

近年、本校が実施した教育のグローバル化の一部を紹介します。

◆聴覚障害教育指導法や教材の国際共同開発

平成20年から22年までの間、韓国国立ソウル聾学校と美術教育における作品鑑賞充実のためのICT教材の作成と生徒作品を通しての国際交流を実施しました。

平成21年から23年までの間、国立臺中啓聰学校・台湾国立彰化師範大学と、日台における聴覚障害児の体育担当者の指導力向上に向けた教材を作成しました。

これらの研究成果は、聴覚障害教育における国際会議や学会等において発表しました。

今年度は、アジア太平洋地域聴覚障害問題会議（APCD ニュージーランド大会）において、2人の教員が研究成果を発表しました。

◆国際交流活動と海外からの来校者

平成23年、交流協定を結んでいるフランス国立パリ聾学校と相互訪問交流を実施しました。

本校からは高等部専攻科専攻科生十名が渡仏し、パリ聾学校生徒と交流しました。

中学部生徒は、スカイプを使用し韓国国立ソウル聾学校生徒と、高等部専攻科生徒は、台北市立啓聰学校生徒とオンライン交流を実施しています。

近年、海外からの来校者（研究者・教員・医療や教育行政に関わる方々）が増えています。昨年度の例をあげると、中国河南省鄭州市康園聴力言語リハビリセンター職員5名来校。スウェーデン大学教員来校。モンゴル教育文化科学省職員6名と、人口開発社会保障省職員4名が来校。インドネシア教育大学教員来校。フランス国立パリ聾学校教員来校。ニュージーランド教育庁職員来校。台湾台東大学特殊教育学科教員と学生32名来校。フランス国立パリ聾学校教員4名生徒9名来校。

6 ツピック

◆台南地震被害に対する義援金

高等部専攻科造形芸術科ビジネス情報科生徒が中心になり、台南地震被害に対する義援金の呼びかけを行いました。多くの方からのご協力と文化祭での学校グッズ販売収益金を合わせ、10万円以上の義援金を集め、2月25日、台北駐日経済文化代表処に届けることができました。生徒会からのメッセージカードをお渡しして台湾研修旅行に向けた事前学習の様子なども紹介しました。

◆『空飛ぶ車いす』支援事業

『空飛ぶ車いす』支援事業とは、神奈川工科大学車いす整備サークルが中心となり、高価な車いすを購入することができないアジアの子どもたちに中古の車いすを整備しプレゼントしようというボランティア活動です。

この活動に高等部専攻科生徒も参加しています。

昨年度は生徒16名と教員3名が参加しました。

整備内容は、車いすの車輪部のベアリング調整、清掃、グリス注入等の軸調整などが中心でした。

また、ブレーキ調整、各部の錆取りや調整を行いました。作業はそれぞれのグループに大学生や高校生、本校生徒が混合グループを組み、お互いにコミュニケーションを考え、意思疎通を図っていました。



筑波大学附属桐が丘特別支援学校の「いま」

本校は、日本初の肢体不自由児療育施設「整肢療護園」に入所するため、当時全国から集まっていた肢体不自由児の教育に当たる養護学校（現、特別支援学校）として昭和33年に開校しました。

開校時は東京教育大学教育学部附属養護学校という名称でしたが、同35年に附属大塚養護学校（当時）が開校することに伴い、校名に「桐が丘」を冠するようになりました。

昭和38年には、家庭から通学する肢体不自由児を受け入れるため近くの別校地に新校舎を設け、以来入院部（現、施設併設学級）校舎と通学部（現、本校）校舎の2キャンパスにおいて肢体不自由教育を先導する実践・研究に取り組む研究実験校として今日に至っています。

1 本校の使命と教育目標

◆本校の使命

筑波大学には、附属の特別支援学校が5校設置されています。本校は、その中で国立大学法人附属学校として唯一の肢体不自由教育及び周辺領域を担う学校です。そのため、次の3つを使命としています。

(1) 筑波大学との連携

本校は、筑波大学と連携・協力し、筑波大学の教育・研究の発展・充実に貢献するための学校です。

(2) 先導的教育の展開と成果の発信

本校は、我が国、唯一の肢体不自由教育に取り組む

附属学校として、関係諸機関との連携の下、肢体不自由教育及び地域支援に関わる今日的な課題に先導的、実践的に取り組み、その研究成果を広く国内外に発信しなければなりません。

(3) 教育の深化と支援の充実

本校は、特別支援学校の目的を実現するための教育を行うと共に、地域の教育機関等に対し、必要な助言、又は支援を行うことを旨としています。

◆教育目標

本校の教育目標は、「教育基本法及び学校教育法、学習指導要領に示すところにより、肢体不自由及びその他の障害を併せ有する児童生徒に対して、個々の個性と障害の実態に応じた教育を行い、豊かな人間性を持ち、積極的に社会に参加し、自立を目指す人間の育成に努める」ことです。



本校校舎 正門

2 個別の指導計画と授業の「L字型構造」

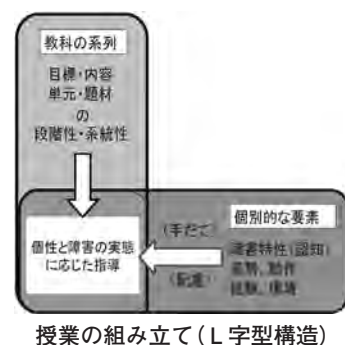
本校では、個性と障害の実態に応じた指導を実現するため、すべての児童生徒に、個別の指導計画を作成しています。

一人一人の実態を把握し、複数の教員が関わり作成す

る個別の指導計画には、自立活動の目標や指導全般において踏まえるべき手だて・配慮が明記されています。各教員は個別の指導計画に基づき、担当する各教科等の目標・内容を精査して授業の計画・実施・評価を行っています。

授業の組み立ては、各教科の目標・内容を踏まえ、児童生徒の実態に合わせて行います。

2方向から検討して組み立てる授業の型を、私たちは「L字型構造」と呼んでいます。この型は、障害が重複していても障害が重くても同様です。



授業の組み立て(L字型構造)

こうすることで、児童生徒一人一人の指導方針を教員間で共有し、一貫性のある指導の実現に努めています。

3 特色ある教育活動

◆主体的に社会参加する力の育成

総合的な学習の時間は、各学部段階で育成したい力に



五感で調べる活動



学習発表会での発表

焦点を当てて取り組んでいます。

小学部3・4年では、身近なものを五感で調べる活動（「みる」活動）に取り組んでいます。よく見ることは勿論のこと、おいを嗅いでみる、触ってみる、音を聞いてみる、味わってみるなど五感を総動員して調べ、わかったことを自分なりに表現していきます。この段階では児童の主体性や追究する姿勢を大切にしています。

小学部5・6年は、「仕事（働くこと）」「将来（社会生活）」「障害理解」を意識した調べ活動に取り組み、調べたことを整理し、聴き手にわかりやすくまとめて伝える表現力を重視しています。学習発表会では、ニュース番組の司会やリポーター役を務め、成果を発表しています。中学部では、他者との関わりを意識したグループ活動と、行動範囲を広げるための校外学習の準備・企画、そして実施後の反省が具体的な活動となります。必要な援助や時間を意識させながら、企画力・行動力・協調性を求めています。バリアフリー環境の確認や公共交通機関の利用等、校外での実践活動に重点を置いています。

高等部では、卒業後の社会生活を一層意識させ、公共交通機関の利用範囲を広げ、バリアフリー環境を踏まえた企画・交渉・活動を通して余暇活動の充実・拡充を図っていきます。また、年間を通して「これから生きる社会と自己の生き方」と題した活動にも取り組みます。卒業後の社会参加をイメージし、必要な情報収集や体験活動、検証作業を通して進路選択を行っていきます。プレゼンテーションの機会を定期的に設け、情報整理や情報発信の力も高めていきます。



中学部・校外学習(池袋)



高等部・職場実習(東京キャンパス)

◆学校設定教科

本校高等部には、学校独自の教科を2つ設定しています。「社会の探究と表現」は、情報の統合困難等の障害特性が影響するため、論述作業に苦戦する生徒たちの不得意さを克服させるために設定しています。社会への関心を広げつつ論理的思考力・表現力の育成を図っています。

「職業生活と進路」は、学習グループで具体的な作業に取り組みながら、職業生活における自己の役割や他者との関係性を考え、行動できる力を育成する教科です。外部機関や企業の協力を得て、「バリアフリーマップの作成」等のミッションを遂行していくなかで、職業生活の一端を体験していきます。

◆職場実習

高等部生徒は全員、職場実習を体験します。特例子会社や公共施設、私立大学等の協力を得て、個々の特性や進路希望を踏まえた実習を体験しています。

筑波大学東京キャンパス事務部（茗荷谷）でも、複数名の実習生を受け入れてもらい、生徒の職業生活に必要な力の検証作業にも協力してもらっています。



在宅ワーク型の職業実習

一昨年度より、都内の企業のご協力を得て、パソコンネットワークを利用した在宅ワーク型の実習も行っています。遠隔地よりネットワーク回線を通じて指示を受け、データ入力や文書作成を行い、完成データ・文書を送信し、そのでき具合や作業過程等について評価を受けています。

◆スポーツ・音楽活動への取組

毎年、東京都障害者スポーツ大会（陸上競技）で多くのメダルを獲得し、全国障害者スポーツ大会にも代表選手を送りだしています。なかには日本記録を複数有し、国際パラリンピック委員会が主催する海外の陸上競技大会に出場している生徒もいます。



附属視覚とのオセロ交流



附属坂戸との授業交流

◆他附属との交流

本校中学部は、附属視覚特別支援学校とオセロ交流を行っています。また、高等部は、附属坂戸高等学校と授業交流しています。



「障がいとアーツ」



障害者スポーツ大会

さらに、昨年度より筑波大学の附属11校（筑波大学附属学校群）の取り組みとして「黒姫高原共同生活」（宿泊行事）が始まり、「障害のある者もない者も共に学ぶ」ことをテーマに、交流及び共同学習に取り組んでいます。

◆各種検定への挑戦

本校は特別支援学校であるため、学習集団が3～8名と少人数です。校内の仲間との切磋琢磨は勿論ですが、学習意欲を高めるために、在籍する児童生徒には、各種検定（英語検定、漢字検定、数学検定等）への挑戦を奨励しています。

個々の実力に合わせて受検し、目指す級への合格が児童生徒の励みになっています。

4 施設併設学級の教育

施設併設学級の校舎は、本校校舎から徒歩5分の場所にある心身障害児総合医療療育センターと隣接する場所にあります。同センターとは渡り廊下でつながり、センタール内にある整肢療護園（医療型障害児入所施設）に入所している児童生徒が通学しています。

在籍する児童生徒の多くが重複障害を有し、障害の状態が重度である者が全体の7割を占めています。児童生徒を取り巻く事情は様々で、個々の障害の状態や程度も多様であるため、医療や福祉の関係者とも連携し、複数の教育課程を編成して教育に当たっています。

手術・リハビリ訓練を目的に入所した児童生徒の場合、期間が過ぎれば同園を退所し、多くの場合、元の学校に戻るため、転出先への支援にも取り組んでいます。



施設併設学級校舎



授業の様子

5 3拠点事業

◆肢体不自由教育を牽引する先導的教育拠点事業

本校は、開校以来、肢体不自由のある児童生徒（重複障害も含む）の障害特性を踏まえた指導のあり方を追究し、先導的な理論と実践例を全国に発信してきました。研究成果は、学習指導要領の改訂にも反映されています。研究成果は、毎年「肢体不自由教育実践研究協議会」を開催すると共に、研究紀要にまとめて全国の関係諸機関に発送しています。また、一般書籍の発刊、全国肢体不自由教育研究協議会や日本特殊教育学会等での研究発表など、積極的な情報発信に努めています。



肢体不自由教育実践研究協議会



自立活動実践セミナー

◆多様なニーズに応える研修事業

筑波大学の附属学校として、筑波大学が実施する次のような各種事業に協力しています。

- 教育実習生・介護等体験学生の受け入れ
- 大学院生の実践演習受け入れ
- 卒業研究・修士論文研究への協力
- 特別支援教育研究センター現職研修生の受け入れ
- 筑波大学公開講座（6講座）の開催
- 筑波大学免許法認定公開講座、同公開講座への協力
- 筑波大学教員免許状更新講習附属学校演習（3講座）

◆児童生徒の視野をグローバルに広げる国際交流

本校は、韓国・セロム学校と国際交流協定を締結し、児童生徒代表の訪韓、インターネットでの交流授業等を行っています。また、今年度から台湾・国立和美実験学校、国立南投特殊教育学校とも協定を締結し、国際交流を本格的に行うことになっています。

このほか、イングリッシュ・ルームを週3日開室し、国際コミュニケーション力の育成に取り組んだり、外国人数員研修留学生や外国人研修生との交流活動にも積極的に取り組んでいます。



韓国・セロム学校訪問



イングリッシュ・ルーム

6 生徒たちの社会貢献（研究開発への協力）

近年、在籍する生徒自身が様々な研究に協力し、共同研究者の一員として研究開発の成果を発表しています。「アイ・プレイ・ザ・ピアノ」は、視線追跡装置を使ってピアノを演奏するシステムです。筑波大学情報科学類との共同研究では、生徒自身がモニターとなり、タブレット端末の肢体不自由児用アプリが開発されています。



Eye Play the Piano



Apple Store 銀座での発表

平成28年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
筑波大	松 村 明 (55筑医)	山 本 哲 哉 (01筑医)
桐医会	山 口 高 史 (55筑医)	
附属校	小 山 浩 (54筑体)	秋 葉 康 浩 (58筑二比文)
図情橘会		
北海道	大 沼 寛 (41教大武)	藤 岡 二 朗 (54筑体) 鵜 野 和 憲 (07筑体)
青森	瀧 口 孝 之 (55筑体)	前 田 濟 (59筑一自) 工 藤 誠 司 (09筑体)
岩手	平 藤 淳 (54筑体)	清 水 茂 幸 (62筑修体) 上 濱 龍 也 (01筑修体) 澤 村 省 逸 (62筑体)
宮城	松 坂 孝 (55筑体)	高 橋 欣 也 (57筑体) 佐々木 洋 (59筑修環)
秋田	船 木 賢 咲 (49教大武)	小 林 大 輔 (15筑博数4修)
山形	津 田 浩 (51筑一自)	仁 藤 誠 (02筑体) 羽 角 哲 弘 (04筑体) 芦 野 浩 二 (07筑自)
福島	鈴 木 弘 文 (46教大米)	伊 藤 淳 一 (09筑修教) 渡 辺 兼 綱 (14筑修教) 渡 邊 幹 男 (17筑修教)
茨城	鈴 木 一 弘 (58筑修教)	木 城 知 則 (13筑博歴) 川久保 典 昭 (12筑修教)
栃木	齋 藤 宏 夫 (58筑修教)	青 木 伸 子 (02筑一自) 池 邊 直 哉 (04筑一自) 宮 澤 昭 二 (02筑一自)
群馬	佐 藤 功 (55筑一自)	紋 谷 清 美 (62筑修教) 阿 部 一 輝 (21筑一自)
埼玉	前 島 富 雄 (47教大農)	平 野 正 美 (54筑二比) 青 木 勇 藤 (55筑一人文) 鈴 木 徹 也 (58筑一自)
千葉	嘉 村 茂 邦 (50教大物)	大久保 利 宏 (52教大健) 末 永 菜穂子 (59筑二人間) 村 田 孝 順 (22筑二生)
学芸大	藤 井 斉 亮 (61筑博教)	中 村 光 一 (01筑博教) 射手矢 岬 (61筑修体) 川 崎 誠 司 (08筑博教)
文科省	鈴 木 康 志 (54筑一自)	清 原 洋 一 (45筑一自) 三 橋 浩 志 (63筑一自) 水 谷 尚 人 (06筑修教)
都庁	鯨 岡 廣 隆 (57筑体)	出 張 吉 訓 (57筑二農) 堀 川 勝 史 (61筑体) 青 木 薫 (12筑体)
東京	高 橋 基 之 (53筑一自)	徳 田 安 伸 (55筑二農)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
東 京	支部長・代議員	
	足 立 荒 川 板 橋 大 田 葛 飾 北 江 東 品 川 洪 谷 新 宿 新 宿 杉 並 墨 田 世田谷 台 東 千代田 千代田 中 央 豊 島 中 野 中 野 練 馬 文 京 文 京 港 港 目 黒 北多摩北 北多摩南 西多摩 八王子 八王子	田 原 章 孝 (51教大応数) 井 上 芳 明 (01筑体) 竹 村 恭 一 (56筑一自) 飯 島 睦 子 (54筑二人間) 渡 邊 悟 (56筑二農) 村 松 広 英 (57筑一社会) 三 保 和 彦 (53筑一自) 真 当 哲 博 (57筑二人間) 田 中 修 (54筑二農林) 桜 井 裕 (49教大法政) 浅 井 一 郎 (55筑一人文) 奈 良 隆 (53筑体) 上 村 肇 (53筑体) 徳 田 安 伸 (55筑二農) 柳 久美子 (50教大體) 竹 村 秀 一 (51教大日史) 戸 谷 賢 司 (48教大體) 中 村 穎 司 (35教大國) 久 保 淳 (56筑体) 浦 部 利 明 (56筑一人文) 池 田 浩 二 (57筑芸) 柴 田 誠 (55筑一自) 高 橋 基 之 (53筑一自) 塩 津 真 (55筑二人間) 笹 野 的 ぶ え (56筑二比) 松 村 直 樹 (61筑修環) 金 田 嘉 明 (56筑一人文) 守 屋 一 幸 (52教大漢) 初 見 豊 (52教大農) 小 林 三代次 (51教大英) 石 川 恵一郎 (49教大健) 小 島 和 雄 (36教大農)
	神奈川	矢 野 正 人 (53筑修農)
	山梨	浅 川 英 三 (57筑体)
	長野	小 口 俊 幸 (54筑二比)
	新潟	永 井 成 一 (41教大法政)
	富山	坪 池 宏 (56筑二人間)
	石川	濱 辺 正 実 (53筑体)
	福井	木 下 久仁雄 (55筑一人文)
	静岡	丹 治 正 (56筑三社工)
	愛知	村 松 利 之 (53筑体)
	岐阜	大 橋 則 雄 (57筑二人間)
	滋賀	町 田 登 (47教大健)
	三重	辻 昭 司 (55筑体)
		松 林 基 之 (07筑体) 樋 上 弘 之 (06筑修体) 桂 本 尚 樹 (62筑体) 向 井 俊 哉 (57筑体) 加 藤 英 紀 (15筑一自) 山 北 正 也 (03筑一人文)
		加 藤 充 洋 (56筑一社会) 添 野 龍 雄 (57筑二農) 中 弥 貴 晴 (49教大農化) 野 崎 哲 司 (62筑二人間) 永 岡 梨 子 (26筑芸) 岩 下 道 子 (59筑二人間) 梅 村 泰 代 (57筑二比) 御子柴 俊 一 (16筑一自) 奥 原 貴 彦 (09筑体) 長 田 裕 (59筑体) 中 村 謙 作 (62筑一自) 庄 司 秀 嗣 (62筑修教) 中 村 典 子 (23筑博数) 松 本 彰 (50教大體) 神 田 康 (15筑体) 近 岡 岳 則 (17筑二人間) 橘 慶 成 (08筑芸) 松 田 充 弘 (14筑一人文) 山 田 芳 史 (56筑一自) 稲 葉 絵 美 (19筑一自) 川 村 昌 宏 (56筑一自然) 伊與田 万 知 (62筑修教) 米 山 誠 (59筑二比) 増 田 智 至 (03筑農) 蒲 尚 胤 (02筑一人文)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
京都	川 合 英 之 (56筑体)	川 合 寛 明 (59筑体) 遠 山 秀 史 (61筑一自) 奥 村 典 夫 (61筑修教)
大阪	松 本 秀 範 (53筑修林)	笹 原 寿 峰 (56筑芸) 中 藪 久美子 (59筑芸) 大 橋 一 郎 (62筑体)
兵庫	永 井 邦 治 (54筑体)	林 啓 太 (56筑体) 千 脇 久美子 (03筑一自)
奈良	谷 垣 康 (53筑一人文)	井 上 徳 之 (58筑一自) 岩 佐 泰 造 (13筑体) 栗 本 善 弘 (10筑体)
和歌山	土 肥 二 郎 (57筑一自)	川 口 勝 也 (01筑体) 岡 本 規 (05筑体) 梅 本 将 志 (12筑体)
鳥取	小 倉 健 一 (53筑体)	山 中 洋 介 (58筑体) 美多賀 孝 裕 (10筑体)
島根	松 本 弘 光 (46教大體)	境 英 俊 (59筑修体) 西 村 覚 (01筑修体)
岡山	長 尾 隆 史 (55筑体)	黒 住 伸 吾 (56筑体) 水 川 敬 介 (63筑体) 近 藤 真 紀 (06筑体)
広島	山 成 宣 彦 (40教大健)	大 辻 明 (47教大體) 山 下 勝 也 (58筑体) 井 藤 幹 治 (55筑体)
山口	鍋 井 邦 久 (38教大體)	兼 行 剛 士 (56筑体) 内 田 忠 範 (57筑体) 藤 井 功 (57筑体)
徳島	安 永 潔 (55筑二農)	池 潤 茂 (58筑二比) 森 誠 一 (05筑修教) 田 北 直 樹 (05筑体)
香川	高 井 信 一 (55筑体)	渡 辺 浩 司 (03筑体)
愛媛	畑 野 智 司 (55筑二生)	八 木 俊 博 (57筑体) 山 本 隆 祥 (07筑体) 森 川 大 和 (17筑二人間)
高知	下 坂 速 人 (53筑体)	手 林 慎 一 (04筑二農) 山 本 英 作 (03筑二比) 野 田 智 洋 (62筑体)
福岡	吉 永 雅 弘 (53筑体)	加 藤 茂 文 (05筑修体) 兒 島 悟 (07筑体)
佐賀	野 中 通 兼 (53筑体)	松 雪 誉 (61筑体) 山 田 和 人 (05筑体)
長崎	山 口 千 樹 (60筑二生)	渡 邊 孝 経 (59筑体) 朝 長 芳 卓 (05筑一自) 酒 井 美 和 (24筑修教)
熊本	川 上 修 治 (01筑修教)	寺 本 護 (08筑体) 米 田 拓 二 (08筑体) 上 田 晃 裕 (14筑体)
大分	渚 洋 行 (53筑体)	田 崎 弘 宣 (63筑体)
宮崎	久 松 弘 幸 (55第一社会)	児 玉 洋 一 (02筑三社工) 茅 島 隆 司 (13筑一社会)
鹿児島	原 口 和 哉 (56第一自)	鹿 倉 貢 (57筑体) 内 倉 昭 文 (59筑一人文) 寺 田 晋 紀 (10筑一自)

茗溪会の

つくば地区公開講座

「花のある暮らしと

エピソード」

講師 NHK趣味の園芸 講師

水戸植物公園園長

西川 綾子（茗溪会 理事）

（平成28年7月18日（月）
筑波研修センター）

「花のある暮らし」は、朝日新聞の茨城県版に、高校野球の時期以外のほぼ毎週、私の思い出の中の植物たちを昭和四十年代の幼い頃から現在までにおきた自分のエピソードと共に紹介しているエッセイです。連載が百三十回を超えた中、当日は本人のベストセレクトクションを紹介しました。今回はその中の一部を抜粋します。

1 下町の銭湯を思い出すオシロイバナ

オシロイバナ科オシロイバナ属のオシロイバナは、原産地はメキシコです。夕方から花が開くので、Four O'clockという英名があります。

幼いとき銭湯に通った時期がありました。風呂道具と下着を入れた洗面器を風呂敷に包み、母と自宅を出るのは4時過ぎ。濃いピンクのオシロイバナが咲き始める時間で「いつてらっしゃい。」と見送ってくれるように見えしました。富士山と松原が描かれたペンキ絵を見ながら湯につかり、風呂上がりに飲むフルーツ牛乳の美味しかったこと。当時の銭湯は子ども連れの若いお母さんが多く、とても賑やかな社交場でもありました。母親たちが仲良しでも子ども同士が仲良しということはなく、まして男

の子ならなおさらのこと。自宅に帰る途中、彼の家に黄色のオシロイバナが咲いていて「我が家にはない色だから欲しいなあ。」と思っても、当時の私は声をかけることはできませんでした。今も夕暮れ時に咲くオシロイバナを見ると、夢のような遠い昔を思い出します。

2 手が届かぬあがれの花ニオイバンマツリ

ナス科ブルンフェルシア属のニオイバンマツリの花は咲き始めは美しい紫で、やがて白に退色するので1株で2色の花が楽しめます。ブラジル南部など暖かい地域が原産地なので、栽培するポインントは冬に霜があたらない場所です。

私は幼い時から花が好きで、学校の帰り道は花を見るため帰り道のルートを変えていました。春は石垣の上で咲くハナニラの群落、フェンスから花がはみだして咲くジンチョウゲの香りを楽しみ、道路に落ちたタイザンボクの肉厚の白い大きな花びらは拾って持ち帰りました。中学校の帰り道に咲いていたのがニオイバンマツリでした。「あの美しい花は何だろう。」玄関先なので中に入る事はできず、いつも遠くから眺めていました。

それが最近、ホームセンターで鉢花を発見。ようやく私のもとにやってきたニオイバンマツリ。ステキな器に植えて庭に飾りました。遠くから花を見つめるセーラー服の少女を思い浮かべながら、花を楽しんでいます。

3 祖母を思い出すオダマキ

明治生まれの祖母は、ドラマ「おしん」の奉公先の大奥様にそっくりでした。遊びに行き、帰る時間になると正座をして話を聞きます。「なせばなる なさねば成らぬ何事も」とよく言葉のように、何でもやってみなければだめだぞ。」とよく聞かれました。努力してできる事は努力をおしまない、今もそう心がけています。

でも時々心折れる時がありますよね。そんな時は録画したおしんを見直し「そんなつまらないことを気にしてたら、これから先、生きていけないぞ。」と言う大奥様を

祖母だと思い、元気を出しています。

あるとき「おばあちゃんがお嫁にくるとき、実家から持ってきた花ですって。」母から聞いたその花はオダマキでした。キンボウゲ科オダマキ属で、北半球に分布しています。中央部の白い部分が花で、周囲の紫色の部分は萼にあたります。日当たりと風通しがよく、やや湿った土を好みます。自宅で栽培していますが、最近繁殖力旺盛なセイヨウオダマキが進出したので負けないよう注意して、祖母の思い出のオダマキを育てています。

4 高層気象台下にあったナンバンギセル

ハマウツボ科ナンバンギセル属のナンバンギセル（南蛮煙管）は、寄生植物として有名です。花の形が誰かを思っている姿に似ているので、オモイグサ（思い草）の別名があります。

少女漫画が大好きな私は、今から40年前、りぼんの創刊20周年記念特別企画「黄色いリボンの花束にして」という作品が大好きで、今も切り抜いて保存しているほど。主人公の女の子黄葉ちゃんは、あがれの男の子に「この花は私の好きな野原に咲いています。一緒に行きませんか？」と告白し、思い草の花束をプレゼントしてハッピーエンドを迎えたので、私も好きな人ができたらと心に決めていました。

大学4年の秋、サークルの先輩に「ナンバンギセルなら、高層気象台のススキ原にたくさん出てるよ。」と聞いて、仲良くなった彼と自転車に乗ってナンバンギセルの採集に行きました。そして花束にしてプレゼントをしたのですが、私の場合は残念な結果でした。

今は高層気象台も撤去されススキ原もあるのか、わかりません。思い出すのは青空をバックに風に揺れる一面のススキと、幸せそうに笑っている私とそんなコラムが掲載された日、「人生、いろいろあるよ。」「かわいそうねふられちゃったのね。」と多くの方に声をかけていただきました。ずいぶん昔の事なんですけどね。

また読者の方からは「気になった事は、ナンバンギセルはススキよりミヨウガとの共生を好む事に触れていな

い」というご指導の手紙もいただきました。そこでナンパンギセルはススキ、ミヨウガ、サトウキビ、ギボウシにも寄生します」と講演会のたび話す事にしています。

5 筑波山のふもとでみかけたビナンカズラ (サネカズラ)

筑波大学在学中は自然研究会というサークルに入会し、植物の名前を覚えるため筑波山に何度も登りました。今から30年以上も前、バスに乗ると女性の車掌さんがいて驚きました。筑波駅に到着すると、今度は鉄道に乗って酒寄駅で下車し、登山を始めました。

「筑波山の中腹は暖かいのでミカンの北限になっているんだ。小さくてちよつと酸味が強いミカンだよ。」先輩からそんな話を伺いながら民家の前を通ると、葉が少々肉厚の蔓生植物を見つけました。

「これはビナンカズラだ。お侍さんがチョンマゲを結うときに使ったんだ。だから美男葛っていうんだ。」

マツブサ科サネカズラ属で、日本や朝鮮半島に自生するビナンカズラは、正式名をサネカズラといいます。夏に丸みをおびた黄色っぽい花が咲き、秋に赤くて美味しそうな実がなります。葉をもんでみるとベトベト感がありますが、これを直接髪につけるのではなく、茎を水につけて透明の粘液が出たら整髪剤として使うようです。

この話をして下さった先輩に昨年呼ばれ、講演会をした時、この思い出話をしました。でも残念なことに、本人は話した事をまったく覚えていないとのことでした。

6 農林技術センターに咲くツタスミレ

学生時代、一の矢宿舎の側にある農林技術センターでは農産物を販売していました。そのとき一番人気だったのがツタスミレの鉢花でした。「花の白と紫の模様がパンドミたいだろう。だからパンドスミレともいうんだ。」技官さんがそんな話をしながら、工具のキリをライターで熱してプラスチック鉢に穴をあけ、緑の針金を通して吊り鉢を作っていく姿を隣で楽しく見ていたものです。

一年生の時からセンターでアルバイトをし、卒業研究もここで行っていたので私にとっては故郷のような施設。優しい先生や技官さん、大好きな花たちに囲まれ楽しい四年間を過ごしました。

卒業後、東京に戻ってめまぐるしい毎日を過ごす中、都バスに乗った時、月が何やら明るく見えて、フツと筑波を思い出しました。入学当初の筑波大学は街灯が少なく「夜つて暗かつたんだ。」と初めて気がついたほど。月を見て農場が恋しくなり、ちよつとホロリ。たくさんさんの愛情に包まれて勉強できた事に感謝しました。

それから数年後、新宿御苑の温室で、グラントカバリーアやマレーなどが原産で、明るい場所でやや湿った土がお気に入り。どんな蔓を伸ばして花が絶え間なく咲きます。「都会で活躍していたんだね！」再会がとても嬉しかったです。最近、新宿御苑の温室は超近代的に生まれ変わったので、新しい温室でツタスミレは健在なのかしら。そんな話を温室担当の女の子にしたら「今もありますよ。」とメールが来てちよつと安心しました。

水戸市植物公園では筑波大学で分けてもらったツタスミレがひっそり咲いています。温室を巡回するたびに「今日も咲いているね。」と語りかけています。

7 終わりに

受講者は82名で、アンケートには60名が回答してくださいました。講演会では皆さんが大変静かに聞いて下さったので、反応がわからず不安に思っていました。

数日後に回答を拝見し、植物が好きな人がほとんどのため「とても面白かった、楽しかった」という声が多く安心しました。難しい話はなく、ちよつと心が和む内容でしたから、喜ばれたのかもしれない。

また発表方法につきましては、北島先生から適切なアドバイスをいただいて、その後すぐに実践しています。先輩方に囲まれて話をするのは研究室でのゼミを思い出し、私にとっても良い機会に恵まれ感謝しています。



平成28年

「追悼のつどい」

今年は、大塚で開催

「追悼のつどい」は、昨年は筑波大学の大学会館内の特別会議室で開催されましたが、今年は場所を大塚に移し、9月3日(土)に茗溪会館で開催されました。

昨年、秋から本年夏までにご逝去された遺族の方々に連絡しましたところ29家族、45名のご参列をいただきました。

本会からも多数の理事が参列しました。遺影のみの参加の21名を加えて50名の遺影が飾られた式場で午前11時に開式され、参列者一同が遺影に黙祷後、江田理事長が「追悼の辞」を述べられました。

筑波大学学長代理として出席された稲垣副学長が来賓の挨拶をされました。その後、一同が献花し、式は終了しました。

式典終了後、茗溪会館写真スタジオにて集合写真撮影の後、場所を二階「茗溪の間」に移して12時より14時まで「懇談会」が開催されました。江田理事長、西川副理事長そして遺族を代表して古藤高良筑波大学名誉教授の挨拶のあと、懇談の席がもたれ、遺族の皆様からスピーチをいただきました。



「追悼のつどい」の会場



献花する江田茗溪会理事長



追悼のつどいでご挨拶をなさるご遺族のかたがた



追悼のつどいでご挨拶をする
西川茗溪会副理事長

平成28年度 茗溪会学生活動支援事業採択団体等一覧

	団 体 等 名 称	対 象 事 業	支援額 (千円)
1	天文研究会	次世代光学式プラネタリウム投影機の開発	100
2	オリエンテーリング部	第36回筑波大学オリエンテーリング大会	60
3	ライフセービング部	茨城県銚田市大竹海岸海水浴場監視救助業務の安全性の向上 (銚田市役所から4,300,000)	200
4	応援部WINS	体育会所属団体の応援活動、スポーツデーなどの学内行事の広報活動、つくばマラソンなどつくば市内の行事の応援活動	250
5	管弦楽団	筑波大学管弦楽団第80回定期演奏会	210
6	吹奏楽団	筑波大学吹奏楽団第76回定期演奏会	130
7	Realjam	ストリートダンスを通して地域に根差したイベント（まつりつくばなど）や学園祭やダンスイベントなどの出演、運営などの活動	140
8	つくばろぼっとサークル	ロボットコンテスト参加に向けた活動およびメンバー間による技術交流	70
9	学び場さくら塾	学び場さくら塾	70
10	HSCaT	学内（教育・研究棟周辺および宿舎敷地内）に生息する猫の保護・管理及びTNR（避妊・去勢手術）活動	130
11	筑波学生文芸賞運営委員会	筑波学生文芸賞運営委員会	50
12	ジャズ楽団	筑波大学Neopolis BIGBAND 1st Recital	140
13	平成28年度筑波大学学園祭実行委員会	第42回筑波大学学園祭「雙峰祭」	500
14	つくば院生ネットワーク	リサーチユニット誕生プロジェクトを軸とした科学／異分野コミュニケーションの促進	110
15	ふるさとつくばゆいまつり実行委員会	第6回ふるさとつくば ゆいまつり（協賛金等500,000）	270
16	食と酒東北祭り実行委員会	第三回 食と酒東北祭り（協賛金427,960）	110
17	筑波大学スポーツ・デー学生委員会 OBOG会	筑波大学スポーツ・デー40周年記念式典及び記念誌作成	40
18	筑波大学陸上競技部駅伝チーム	筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト	320
19	香風寮学習ボランティア	児童養護施設における学習ボランティア活動	150
20	つくばミュージックプロジェクト	筑波大学学園祭ライブ2016プロジェクト	50
21	盆踊りプロジェクトー盆LIVEー	盆踊りプロジェクトー盆LIVEー（T-ACT承認企画）	100
総 額			3,200



茗溪会から筑波大学へは、毎年8百万円近くを支援していますが、その4割程度を占めるのが、この学生活動支援事業です。今回は、申請団体が増え、支援総額で当初予算300万円を20万円ほど超えるものとなりましたが、徐々にこの事業が学内に浸透してきた結果であり、むしろ同窓会本来の活動として、ますますの充実が期待されています。また、残念ながら採択されなかった団体はいずれも工学系で、ある選考委員は、「社会や大学との関係という点での見せ方や申請書の書き方などに工夫がほしい」と解説していました。

去る7月8日、学生活動支援事業選考委員会（委員長 西川潔副理事長）が開催され、24件の申請のうち「箱根駅伝復活プロジェクト」などを含む21件が採択されました（表参照）。これを受けて、同月21日、江田昌佑理事長から永田恭介学長への寄附金の贈呈式が行われ、翌22日には、玉川信一副学長の臨席のもと、採択された団体への助成金交付式が行われました（写真は交付式後の参列者）。参列した学生は、「大切に使います」と、思いを新たにしていました。

茗溪会学生活動支援事業

助成金

320万円

を交付！

日本サッカーの宗家 「蹴球部」創部120周年

筑波大学蹴球部同窓会
茗友サッカークラブ理事長

中塚 義実（筑波大学附属高校教諭）



1904年2月6日、横濱外人倶楽部との試合に臨んだ東京高師の選手たち。後列右から2人目が中村覚之助。

1863年に英国で生まれた近代スポーツとしてのサッカーは、瞬く間に世界中に広まった。日本へは1873年、築地にあった海軍兵学校でイギリス軍人によって紹介される。しかし「軍人を通してのフットボールは日本ではひろがらず、主として学校の先生から、学校の運動場で教えられたものが発達した」^{注(1)}。その出発点にあるのが本校蹴球部である。

1896年3月、高等師範学校の嘉納治五郎校長は、「運動会」を組織して8つの部を設け、毎日これらの中から1、2の運動を行うことを奨励した。その中にフットボール部^{注(2)}の名がある。これを創部とする蹴球部は、1899年創設のFCバルセロナやACミランよりも長い歴史を持つ、日本最古のサッカークラブである（横濱と神戸の外人倶楽部を除く）。

「運動会」は1901年には「校友会」に再編され、メンバーシップを伴う学校運動部となる。1903年にはお茶の水から大塚窪町に移転、「雑木雑草に埋められていた」土地を切り開いてグラウンドにしたのは初代主将・中村覚之助のリーダーシップに負うところが大きい^{注(3)}。彼は、前年に海外視察から帰国した坪井玄

道（学校体育の父。初代蹴球部長）が持ち帰ったいくつかの書物をまとめ、日本で最初のサッカーの専門書『アツシエーション・フットボール』を著した。この書物をもとに練習を開始した蹴球部は、秋の運動会で模範演技を行い、翌1904年2月6日、日露戦争開戦直前に日本人として初の対外試合を行った。対戦相手は横濱外人倶楽部。いまでいう横浜カントリ・アンド・アスレティック・クラブ（YC & AC）である。2軍相手に0-9の大敗であったが、練習を重ね、1908年にはYC & ACに勝てるだけの力をつけていた。

在校生は、自分たちのレベルアップのために練習に取り組むだけでなく、積極的にサッカーの巡回指導に向向いていく。卒業生は、「赴任先にゴールポストを立てよう」を合言葉に、日本中にサッカーを広めていく。こうして本校蹴球部は「日本サッカーの宗家」と呼ばれるに至るのである^{注(4)}。

創部から120周年となる2016年、蹴球部同窓会茗友サッカークラブではさまざまな事業を展開している。

現役主催の「120周年記念イベント」

2月21日、筑波大学で「120周年記念イベント」が、筑波大生だけでなく、少年サッカーの子どもたちや保護者など、のべ500名が参加して行われた。午前中の第一サッカー場は、サッカーのプレーや観戦、各種パフォーマンスを楽しむフェスティバルである。鬼怒川の決壊により被災した常総市とも連携し、常総焼きそばやプリン、ドーナツなどの特産品の販売も行った。午後からは中央体育館のダンス場に移動し、自主制作映画を上映した後、田嶋幸三氏（JFA会長）、鈴木淳氏（Jリーグ監督）、潮智史氏（朝日新聞記者）ら蹴球部OBを招いて「日本サッカー大討論会」を実施した。

これら、すべてを学生が企画・運営したところに意義がある。戦後初の2部降格から1年で1部復帰を果たした現役部員が、120周年のシーズン前に、若者らしいパワーを示してくれたのはすばらしい。



2016年7月10日、祝賀会には約160名が集まった。

交流戦・定期戦にて

長い歴史は、切磋琢磨する他クラブとの交流史でもある。1904年の初対戦以降、Y&C & A Cとの交流は長く続く。中断期があったものの100周年を機に再開し、今年は2月7日、通算112回交流戦が横浜で行われた。

中央大学との定期戦は今年で58回目である。7月9日、味の素フイールド西が丘でゲームを楽しみ、4年に一度の両校合同懇親会を茗溪会館で行った。

ソウル大学校との交流も今年で33回目。隔年で行き来し、7月末に訪韓した。

いずれも試合後の懇親会で、120年の歴史と日本サッカーのあゆみを各クラブと共有し、これからも続くクラブ間の友情を確認し合った。

120周年記念祝賀会

7月10日には都内のホテルに160名余が集まって祝賀会が開かれた。

冒頭、茗友S Cの松本光弘会長（東教大12期）の挨拶の中で、長らく部長・会長を務めた森岡理石氏（東教大5期）と、Jリーグ創設の陰の立役者である木之本興三氏（東教大20期）の功績が改めて紹介された。続いて

挨拶に立ったのは日本サッカー協会（JFA）会長の田嶋幸三氏（筑波大3期）である。FIFA理事も兼ねる田嶋氏は、日本とアジアのサッカー界のかじ取り役である。大学からは体育専門学群長の真田久氏が乾杯のご発声された。水泳部OBの真田氏は、スポーツ史の研究者の立場から、戦前の蹴球部に留学生チームがあり対外試合を積極的に行っていたことや、中国大陸のサッカー発展に尽力された卒業生が大勢おられることを紹介された。

同窓生が集い、懐かしい話に花を咲かせるだけでなく、お世話になった方々に感謝の意を伝え、ともに喜びを分かち合う有意義なひとときであった。

記念誌『あのひと、あのとき』 エピソードで綴る筑波大学蹴球部の120年

年3回発行する会報のリレー連載を中心に記念誌をまとめている。

東京教育大1期生から筑波大40期生まで、各期1名が当時の思い出を綴る連載は、史料としても貴重である。今秋発刊予定である。

蹴球部120年のあゆみは、そのまま日本サッカーあゆみである。

歴史を学び、先人から志を引き継ぎ、次の世代に伝えていきたい。

注(1) 日本蹴球協会編、『日本サッカーのあゆみ』、1974年、講談社

注(2) 1904（明治37）年6月8日の校友会評議員会にて「ローンテニス部を庭球部に、フットボール部を蹴球部に、ベースボール部を野球部に、ボート部を短艇部に改むること」が議決され、このときから「蹴球部」となった（校友会誌 第5号（1904年7月10日発行））。

注(3) 堀桑吉の回想より、『東京教育大学サッカー部史』1974、p18

注(4) 多和健雄「蹴球競技の宗家」、『茗溪サッカー百年』1996、p67～72

2016年3月21日～2016年9月20日

岩本	岩村	岩渕	岩崎	今井	猪野	伊東	伊藤	伊東	出井	市村	市川	板持	石原	石浜	石田	石田	石嶋	石上	石上	石井	池田	池嶋	池川	安藏	新井	新井	新井	浅見	浅野	浅野	浅井	秋本	赤堀	赤坂	青山	青山	青田	青木	阿江
仁志	雅朗	房夫	正子	努	清	健三	忠一	祐孝	善次	一司	敏美	頼好	麻理恵	義晴	正次	廣吉	靜一	裕	二郎	勝	齊	聖也	敏幸	復也	章慶	充司	哲夫	高明	義尋	克己	康明	俊夫	正宜	収	和義	彦	雅樹	謙治	美恵子

上原孝	内野和夫	江口好晴	江口宏一郎	江田昌佑	江間實	大石坦	大石進	大岡久恵	大木都起子	大木銀子	大澤秀利	大下専一	大関利久	大田悦三	太田秀	大浜あづ子	大藪正哉	大山嵩彦	大山康彦	岡崎一雄	岡村雅彦	岡村勉	岡村奏	岡本彪	岡本卓夫	荻野治雄	奥田謙一	奥田繁雄	奥山訓近	小黑美智子	小田潤	小野桂市	折笠常弘	恩田和也	笹島充	梶原富男	片桐武夫	勝田茂	勝又宏
-----	------	------	-------	------	-----	-----	-----	------	-------	------	------	------	------	------	-----	-------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	-----	------	------	-----	-----

加藤 昭	加藤 君雄	門永 敏樹	金井 敏明	金井 律男	金本 晋也	神谷 和行	河合 学	川合 英之	川口 千代	川崎 順一郎	川島 克之	川田 孝一	河鍋 鶯	河野 大輔	川本 太郎	川本 崇雄	岸川 章修	岸本 弘子	木村 茂	木村 清志	日下部 公昭	草柳 茂	櫛部 淨義	熊倉 正司	隈部 直光	倉持 守三郎	栗林 幸男	桑原 洋	小畔 東	小池 一郎	合田 浩之	鴻巣 敏之	神戸 玲子	古賀 正義	国分 康孝	小坂 悦夫	小島 敏昌	小嶋 五郎	兒玉 輝之
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	------	-------	-------	-------	--------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

杉江	菅野	白戸	莊司	庄司	下山	清水	島谷	洪沢	柴山	柴田	柴田	重永	佐野	真田	佐藤	佐藤	佐藤	佐々木	佐々木	相楽	坂田	三枝	西丸	齊藤	齋藤	斎藤	小山	小山	小松	小松	小林	小林	小林	小成	後藤			
つま	秀男	秀	隆一	一子	寅雄	毅	弘幸	仁司	尚大	恵美子	昭二	忠興	欣之介	美帆	功	泰正	悦郎	敏恵	史郎	達	信久	清一	浩	隆	武文	光政	浩	弘毅	昭夫	利夫	千洋	良一	久子	和彦	豊歩	浩行	幸男	恒顕

千葉	田沼	棚田	田中	田中	田中	立石	竹松	竹原	竹之内	竹之内	武田	武田	武田	高橋	高橋	高野	高野	高田	高垣	高井	田井村	大学	瀨田	諏訪部	須藤	鈴木	鈴木	鈴木	助川	杉本	杉江
泰博	睦	一裕	敏生	禮三	尚夫	秀樹	杉人	祐彦	徳博	恒里	恵子	吉包	伸一	定之	誠	大二郎	だいわ	雅博	邦雄	高盛	明博	俊彦	なみ江	吉郎	健児	祥史	善弘	泰全	通雄	正	由里

土崎 祐一郎
土屋 道生
筒井 豊祐
粒良 幸三
土井 進
富山 順治
仲 暎子
永石 二郎
中川 健二
長坂 晃
仲沢 市夫
永澤 正好
中嶋 正躬
中島 光廣
中田 英雄
永田 遥
永峰 薫
中村 静子
中村 通男
中山 茂
中山 貞夫
中山 家久
鍋井 邦久
浪越 信夫
奈良 昭男
西上 勝博
西野 虎之介
西村 淳
西村 伸平
西村 浩宣
根立 俊樹
野口 昌三
野口 道子
野々宮 徹
野々村 博
信澤 晃
野村 良和
萩原 昌明
長谷川 茂
花本 明

花吉 洋一	羽根田 秀実	林 建生	原田 隆康	東 勇介	土方 多美枝	日比野 文二	平形 精一	平川 信夫	平根 健夫	平林 正光	平山 昇	廣橋 義敬	深澤 整	深澤 宏	福井 哲夫	福島 博	福田 正義	福田 禎治	藤井 英嘉	藤井 茂男	藤井 英二郎	藤沢 謙一郎	藤森 慎	藤善 尚憲	藤原 章司	布施 牧子	舟崎 和誠	布留川 厚	古川 彦次	古屋 孝徳	紅屋 知伸	保坂 慶蔵	星野 敏男	本宮 健次郎	本多 一也	前島 富雄	前田 嘉昭	増谷 まゆみ	増原 光彦
-------	--------	------	-------	------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------

間瀬	和義	松井	安樹	松井	安道	松川	重明	松下	健	松下	一弘	松田	繁雄	松田	英臣	松村	明	丸山	富三	三浦	早江	三澤	義一	水口	浩	水城	忠明	溝口	繁美	三井	清司	三船	新次	宮内	完吾	宮内	和雄	三宅	玲子	宮下	弘子	宮田	孝雄	宮本	みち子	宮本	義久	武藤	直人	村田	茂	村田	直樹	村田	幹雄	村谷	匡史	望月	正	望月	正大	森	悠大	森清	寿朗	森田	信義	森永	滉	守橋	健二	森本	義信	屋井	征雄	矢沢	要輔	安田	昭子
----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	---	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

谷中 齊
薺野 英次
山内 研二
山浦 巖
山神 眞一
山岸 徳治
山口 忠彦
山口 松太郎
山下 眞一
山田 将之
山西 明
山本 吉夫
山本 章雄
横山 勝雄
横山 正行
吉尾 健太郎
吉澤 敏武
吉田 良一
吉田 正之
米川 敏明
米谷 元捷
若田部 博哉
渡辺 建夫
渡邊 憲章
渡邊 浩之
渡辺 寿夫
渡辺 好明
渡辺 昌一
渡部 清二
渡辺 隆明
渡辺 知幸

(五十音順・
敬称略)

会費完納会員の皆さまへ

平成28年10月15日

一般社団法人 茗 溪 会

理事長 江 田 昌 佑

平成28年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、平成27年には700人を超え、合計約300万円のご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

今年も、9月20日現在で411人の皆様からご協力いただいております。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには平成28年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

季刊誌『茗溪』正月号に 誌上交流広告掲載ご協力のお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきました、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集してまいりました。次号(1092号)では、「年頭の挨拶」を交わす誌上交流を会員の皆さま全員にお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ふるって、ご応募くださいますようお願い致します。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』正月号(1092号)誌上

上段に「謹賀新年 平成29年 今年もよろしく
お願い致します」のタイトルを標記致します。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を、全国の仲間と交流して下さい。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で、本部事務局宛ご連絡下さい。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力下さい。

協力金は本部事務局までご送金下さい。

◆原稿等の締切り

平成28年11月25日(金)です。

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23

茗溪会 事務局長 高野 力

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。

茗溪・東西南北



山形茗溪会活動報告

山形茗溪会では、毎年、総会の開催を大きな事業として活動しております。

昨年は、春に山科博先生（昭四十一・教大東史）が、秋に小原正隆先生（昭四十・教大東史）が、それぞれ瑞宝小綬章を受章なされ、大変うれしい一年となりました。十一月二十九日（日）に、山形市のホテルキャッスルにおいて、二十九名の参加で総会が開催されました折には、参加された小原先生に、会長から花束を贈呈し、会員みんなで祝福しました。

議事では、平成二十六年事業報告、会計報告及び平成二十七年の執行体制と事業計画、予算案が審議されいづれも全会一致で可決されました。

引き続き行われた懇親会は、小原先生の受章祝賀会も兼ねた形になり、例年、会の終わりにには、全員で円陣を組んで「宣揚歌」を声高らかに歌い、「エール」で締めくくることが常となっていますが、このときは小原先生にも「エール」を送り盛況のうちに終了いたしました。

そのとき、全員で撮影した写真を掲載いたします。

全体での総会の他に、庄内地区（海沿いの地区）や最上地区（内陸北部の地区）においても、それぞれ年一回、情報交換会が開催されておりますし、体育系の会員による会も毎年冬に開催されており、昨年度も三十名近い人数で、盛大に行われました。

しかしながら、いづれの会も参加者の減少と固定化が見られます。山形茗溪会の活動の維持と活性化のためには、総会の参加者、特に、若い会員の参加を増やすことが喫緊の課題と考えております。

今後、できれば本会の活動状況を報告するための「山形茗溪会だより（仮称）」を作成して、総会の案内と一緒に送付するなどの積極的な情報発信を通して、これらの課題に対応するなどして、山形茗溪会のさらなる充実・発展に向けて活動を展開していきたいと考えております。

岡山茗溪会活動報告

岡山支部事務局長 黒住伸吾（岡山朝日高校）

今夏の岡山支部総会は、中国高校総体の関係で9月24日（土）の開催となりました。各競技の秋季大会等と重なり、現任教員の参加が少なかったのは残念でしたが、赤木匠先輩（昭和46年修士法卒）の叙勲の報告などもあり、例年通りの盛会となりました。

さて、「皆さんにお知らせするような活動は何も出ていませんので。」とお断りしておりました「東西南北」の原稿、再度依頼がありましたので、岡山支部の活動とは少し離れますが、中国高校総体にあわせて開催した「茗溪バレーボール部懇親会in山口」の紹介をさせていただきます。

大学卒業（昭和56卒）5年目から22年間勤務した玉野光南高校時代、全国高校総体で訪れた先々で茗溪の先輩方が、事前合宿・練習会場のお世話から激励会まで温かい支援を下さいました。懇親会の席では全国大会常連の大監督に「筑波の4期生です。」と挨拶に行き、選手育成やチーム作りのヒントなどたくさんの教えも受けました。残念ながら応えるだけの戦績は残せませんでしたが、新設校・駆け出し指導者の私にとって、先輩方の存在は本当に有り難かったです。

バレーボール部OB会中国支部長を仰せつかり、いつかは恩返しをと思っていたところ、今回中国高校総体という絶好の機会をいただきました。前年度開催地大阪の先生から案内・準備等のノウハウをお聞きし、OB会本部には告知の後ろ盾をいただいたおかげで、東京からOB会長、筑波から男子監督、各県代表チームの監督やコーチ合わせて25名のご参加をいただき「茗溪バレーボール部懇親会in山口」を開催することが出来ました。

久しぶりにお目にかかる旧知の先生方や初めての若い方々との懇親会では、沢山の元気をいただき、まさに至

福の時間でした。

翌日、大会会場で観戦した同門対決の手に汗握る熱戦も、母校勤務でしばらく真剣勝負とは無縁の私にとって心揺さぶられるものでした。

恩返しをとの思いとは裏腹に、今回の開催に際しても参加いただいた方々をはじめ、多くの茗溪関係者のお力を借りることになりました。「茗溪万歳！」です。

時の流れは本当に早いもので、現役時代からその背中を追ってきた筑波大1期生の先輩方が今春教育現場を卒業されました。東京教育大から筑波大、上手くバトンが繋げているかどうかは別にして、「茗溪の絆」はこれから大切にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍、茗溪会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



鹿児島茗溪会活動報告

毎年定例の鹿児島支部総会・講演会及び懇親会を、平成28年7月9日(土)ホテルパレスイン鹿児島において29名の参加により開催した。女性や初めての参加者が、例年に比べると多いように感じられた。

会員による今年度の講演会は、鹿児島大学教授池川直氏による「西郷隆盛、愛加那木彫像制作について」という演題で行われ、質疑応答も盛んであった。

懇親会の方は、和やかな雰囲気の中で自己紹介・近況報告及び懇談、最後に全員による宣揚歌斉唱と万歳三唱で会を終了した。

(鹿児島茗溪会 事務局)



著書紹介

夏季オリンピック六ヶ国語辞典①⑤

著者…本多英男(28年教大体育)

本の大きさ…A5版 二、四〇〇／三、〇〇〇円
出版社…三恵社

冬季(長野)オリンピック四ヶ国語辞典を始め、サッカー七ヶ国語辞典、体操競技六ヶ国語辞典を編集され、今度は夏季オリンピック六ヶ国語辞典を編集されました。丁度オリンピックが終り、東京オリンピックに向けて始動し始めました。二〇一五年八月に出版されましたが、各新聞が興味を持って取り上げてくれました。英語はわかるがフランス語、ロシア語となると中々手を伸ばすことができません。ましてスポーツ専門語となるとなおさら大変である。オリンピック組織委員会の方々と通訳のみなさん、体育の先生方の参考になれば幸甚に思います。

入手方法…特定書店(ジュンク堂)、アマゾン

田中正造(36年教大体育)

著書紹介の掲載について

季刊誌「茗溪」には、茗溪会員の皆さまの著書を紹介しております。先輩・後輩・友人などの著書を、25字×18行程度の紹介文にして茗溪会事務局へ送ってください。

なお、書名、著者およびご本人の卒業年度、学部・学科(学群・学類)、本の大きさ、ページ数、価格、発行所等を付記して下さい。

送っていただいた原稿は、掲載検討会議で諮ったうえ、できるだけ多く紹介しようと考えております。また、紹介した本を永く保存するため、事務局に一冊ご寄贈くださるようお願いいたします。

筑波大学はいま

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック 壮行会を開催



7月13日(水)、大学会館ホールにおいて、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックに出場する本学関係者の壮行会を開催し、出場選手22名のうち6名と役員等として派遣される本学関係者3名が出席しました。

会場には、学生や教職員、一般来場者のほか、つくば市立春日学園7年生約160名、あわせて450名が激励に訪れました。

本学体育系の山口香准教授（ソウ

ルオリンピック銅メダリスト）の司会進行のもと、応援部WINSによる熱気あふれる演舞で幕を開け、永田恭介学長から「まずは自分のため、チームのため、そして大学、日本のために克つてほしい」との挨拶がありました。続いて市原健一つくば市長や真田久体育専門学群長から激励の言葉が送られると、選手達からは、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックに向けた力強い抱負が述べられました。



応援部 WINS の演舞で壮行会の幕開けです



壮行会の最後には、参加者全員で肩を組み、「宣揚歌（桐の葉）」を歌って締めくくりました



プロジェクト始動を記念して

現在、国内で稼働している11の陽子線治療施設のほとんどで小児科が併設されておらず、患児の多くが小児がん医療体制が整っている本学附属病院での治療を求めています。1983年以降、全国から陽子線治療が必要な小児がんの患者さん273名を受入れ、保険診療となった今年度は、100名以上の受入れが見込まれています。

必要とする小児がん患者さんと、そのご家族に病院近隣のアパートを低価格で提供し、小児がんと闘う子どもたちを応援するものです。

一誠商事&筑波大学附属病院キッズハウスプロジェクト

本プロジェクトは、遠方から来院する陽子線治療を

お茶の水大学と本学間連携協定を締結

本学は、国立大学法人お茶の水女子大学との大学間連携協定を締結しました。

両大学ともに師範学校を創基とする大学であり、歴史的背景を有することから、幼児教育から大学院教育まで全ての世代の教育をシームレスにつなぎ、それぞれの資源・強みを活かし、協働して人材育成を図ること、さらに、附属学校教育を含めた特色ある新たな教育連携への発展を目指したものです。

本連携協定の締結により、本学がスーパーグローバル大学創成事業で進めている国内外の大学とのキャンパス機能の共有化、及び教育研究のトランスボーダー化に繋がるものとして取り組んでいきます。



永田恭介学長と室伏きみ子 お茶の水女子大学学長

夏休み自由研究お助け隊2016を実施

7月30日(土)、31日(日)の両日に中学生を対象とした「筑波大学夏休み自由研究お助け隊2016」を実施しました。今回は、つくば市、土浦市及び取手市など県内各地の中学校と千葉県や東京都など県外から、2日間で延べ80名が参加しました。参加者からは、「難しいことも分かりやすく説明して下さったのでとても楽しかった」、「自分が疑問に思っていたことが解決できてすっきりした」、「普段はできないようないろんなことを体験させてもらった」、「将来筑波大学に来られたらいいな」、「また来年もこのイベントを開催し、いろんな人を助けて欲しい」など大変好評のうちに終了しました。

今後、運営方法をよりよく工夫するとともに、テーマや内容のさらなる充実を目指して、来年度以降も引き続き実施したいと考えています。



「マウス（ハツカネズミ）の発生について学んでみよう」「医学系大学の実習を体験してみよう」「Arduinoを使ってプログラムしてみよう」など13のテーマについて、参加した中学生のみなさんは、技術職員から実験方法や装置の作り方などのアドバイスを受け、熱心に観察や実験に取り組みました。

茗溪学園だより

国際バカロレア（IB）認定校へ

平成29年度のスタートを目指して準備を進めてきました国際バカロレアのディプロマ・プログラム（DP）の認定を、7月20日付けで受けることができました。これにより、世界4千校以上あるIBワールドスクールに加わることができました。国内の普通の高校（一条校）では14校目、日本語科目も実施する学校としては5校目、茨城県では初の認定です。8月8日には、中川理事長、田代校長が茨城県庁を訪れ、山口副知事に認定の報告を行い、記者会見を行いました。

IB機構はスイスに本部のある国際教育組織で、そのDP科目を受講し卒業認定を受けると、成績次第で世界中の2万校以上の大学に進学することが認められています。茗溪学園では、一部の科目を日本語で実施する日本語デュアルランゲージ・ディプロマを実施します。平成29年度の高校進学希望者（本校中学からの内部進学者と外部からの高校入学希望者）を対象に、25名を定員として募集し、高校1年次は通常クラスに混ざって必修科目を履修し、一部IBDPの準備となる授業も受講します。高校2年次・3年次は別クラスとなり、DP科目と

一部日本の高校必修科目を学習します。ディプロマ（IBの卒業資格）と日本の高校卒業資格両方の取得を目指します。可能な限り、茗溪学園高校の行事やプログラムにも参加し、「茗溪生」としてのIBDP生を育てます（開設科目は、表のとおり）。

IB一期生となる来年度入学生は、内部進学生では中学時の評定が基準値以上

【IBDP開設科目】（予定）（日本語表記は日本語で、英語表記は英語で開講）

- Group 1（言語と文学）：日本語A文学
 - Group 2（言語の習得）：English B
 - Group 3（個人と社会）：歴史、Environmental Systems and Societies
 - Group 4（理科）：物理、生物、Environmental Systems and Societies
 - Group 5（数学）：数学
 - Group 6（芸術他）：Film、化学
- 課題論文、「知の理論」、創造性・活動・奉仕」3つのコア科目も日本語開講

【IB課程試験日など】（外部受験者）

- ①海外特別選抜 期日：11月19日（土）
会場：上海、香港、シンガポール、バンコク、ロンドン、シカゴの海外6都市
 - ②高校一般入試 期日：1月28日（土）
会場：茗溪学園（つくば市）
- 試験科目：国語、数学、英語＋面接（詳しくは、本校入試担当まで）

で英語と面接試験を行います（10月実施予定）。外部からの受験者は、右下表のとおりです。

IB生徒は英語と日本語の両方の科目を受講することになるため、英語も日本語も高い運用能力が必要になります。また、数学が必修であるため、将来文科系を希望する生徒であっても数学に取り組める学力が必要です。そういう意味で、「英語だけで行うIBDP」とは異なり、英数国どれにも一定以上の力が必要になります。逆に言えば、これまで国内には「英語だけで行うIBDP校」しか無かったため、帰国生などのように高い英語力を持つ生徒だけのプログラムだったものが、海外経験が無い生徒でも英数国に頑張っている生徒であれば、海外の優れたカリキュラムを体験し、海外への進学も選択肢にできるようになります。

先行する実践例がほとんどない中、英語DPと日本語DPの融合や通常課程を実施しながらIBDP課程も同時に運営していくという非常に困難な課題に挑戦します。茗溪学園のレゾンデートルとも言える新しい教育実践へ、教育実践校の役割を果たすべく、覚悟を持って臨んでいきます。

部活動など結果報告（7～8月）

【全国大会、インターハイ】

◎**高校ラグビー部**：第3回全国高等学校7人制大会結果プレート部ベスト8、日中韓ジュニア交流会（中国・寧波市開催）にU17ラグビー日本代表として1名出場

◎**中学ラグビー部**：全国ジュニアラグビー大会茨城選抜として出場（12月大阪開催、7月に行われた関東地区予選で優勝）

◎**高校バドミントン部**：インターハイ・ダブルス結果2回戦敗退

◎**水泳**：高飛び込み：インターハイ結果飛び板飛び込み18位高飛び込み17位

◎**中学ダンス部**：日本中学ダンス選手権全国決勝大会出場

◎**中学剣道部（女）**：全国大会出場（県大会優勝）

◎**科学部無線工学班**：全国ARDF大会団体3位、同大会中学の部団体2位、個人女子で優勝、世界大会（9月ブルガリア開催）に高校生2名出場

【関東大会・中学】（出場部活）

バドミントン部（男女）、器械体操部（男女）、剣道部（男女）

※県民総合体育大会・中学校大会総合成績で女子は3年連続で総合優勝、男子は総合3位となりました。

施設拡充・改善工事進む 新棟建設・駐車場整備・トイレ改修

IB課程の新設や少人数授業クラスをより増やすことから必要教室数が増加しました。そこで、よりよい教育展開のため、新棟を建設することになりました。高校校舎に隣接する位置に建てる計画です。7月に工事が始まり、来年3月に完成の予定です。この新棟建設に先立って、テニスコートを移設し、校舎南側の駐車場も広げる整備工事を行いました。完成すれば、教室数ばかりでなく駐車場などの問題も改善されます。

また、昨年度より進めてきたトイレ改修ですが、今年度は中学棟が装いも新たに生まれ変わりました。これで高校棟・中学棟共に改修が終了しました。創立から38年が経ち、改修を必要とするところがリストアップされています。優先順位をつけて毎年計画的に整備していく予定です。



新しくなった中学棟トイレ（手洗い台と鏡に映った便器）

◆東京教育大学 軽音楽サークルOB会 発起人会

と き 平成28年2月27日(土)

ところ 渋谷「麗卿」

真山勇一参議院議員(S43独文)の遊説に出会った井筒さん(S43心理)から連絡網が広がり、川上・島野(S44)・伊藤・横山(S45)・沢井・大原・高野が発起人になり、軽音・フォークの当時の仲間呼びかけ集まりを持つことにした。(文責:川上雄作 S45農化)



◆昭和42年入学心理学科クラス会

と き 平成28年4月3日(日)

ところ 東京駅前丸ビル筑紫楼

入学34名中卒業33名で31名の方と連絡が取れ、16名の方々が集まりました。担任の高野先生にもお声がけさせていただきましたが、お祝いごとと重なってしまい残念でした。男性6名、女性10名と入学以来相変わらず女性パワーが優勢なクラスです。会食終了後皇居前を散策し、次回の会合を約してお別れしました。



◆東京教育大学法律政治学科昭和37年入学同期会

と き 平成28年5月30日(月)

ところ 茗溪会館内「嘉ノ雅茗溪館」

「久しぶりに母校の近くで…」と、「まだ現役で昼は…」という方もいましたが、昼食を兼ねて集まりました。地方からも来てくれて。先ずキャンパス周辺を散策、「半世紀ぶり！」なんていう声も聞かれた。占春園は昔と変わらず当時を思い出すのに格好でした。「嘉ノ雅茗溪館」は、感じ良く料理も好評、ちょっとした会合にも使えるうでした。(文責 渡辺 貢)



◆38同期会 (東京教育大学体育学部昭和38年入学同期会)

と き 平成28年5月31日(火)

ところ シーサイドホテル舞子ビラ神戸

この会は昭和61年に始まり、平成16年からは2年毎の開催となり今年は10回目の同期会となりました。卒業(昭和38年3月)後50周年の記念同窓会を併せて節目を祝い、明石海峡大橋を目の前に同伴者を含め41名の参加を得ての開催となりました。皆とともどもに「幡ヶ谷の学部時代」に思いをいたしながらの和みの惜春の会を持つことができ、これからは老いを自覚し、生き方上手に長命健康で社会に貢献できれば…との願いのもとに散会しました。

写真・文責 萩原健児



◆東京教育大学農学部生物化学工学科昭和43年入学

と き 平成28年6月4日(土)

ところ 町田「南国酒家」

48年前、入学してまもなく大学紛争の波にもまれ、スト・バリケード封鎖・ロックアウトと大揺れの一年間でした。従って卒業時期は、「4年以上」が共通認識。気がつけば、他大学卒の仲間も居ます。7年前に初めて8名で実施してから、今回は10名になりました。年齢を重ねる中、入学時28名の人数にどこまで近づけるかが楽しみです。(写真) 左から

松田 伊藤 須賀 関口 富山 山田 細谷 村山 大村 濱口
(写真:松田修二 記:細谷俊一)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せ下さい。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したもので結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31字×5行以内でお願い致します。

◆東京教育大学農学部林学科昭和36年卒業生「三六会」

と き 平成28年6月12日(日)

ところ 渋谷「くじらや」

昔なつかしい渋谷「くじらや」で15名参加のもと開催。貴重な「くじら」料理を食べながら、渋谷の街の変遷に驚き、年を重ねた事を改めて感じました。再開を約して会散しました。

(幹事 田村正義)



◆昭和42年入学茶道部同期会

と き 平成28年7月15日(金)

ところ 高輪和彊館

同期11名中10名の方々と連絡が取れ1次会に8名、二次会に1名参加で9名の方々に集まっていただきました。茶室のある施設でお茶を飲んでから会食とお茶の世界では順序逆転となりました。45年ぶりに茶筌を振った方もおられ楽しい会合になりました。次回は他学年の方と合同という案も出てまいりました。ご希望の方連絡ください。

連絡先 鶴間満生 埼玉県鴻巣市本町7-1-24 048-541-0005

m.tsuru@f6.dion.ne.jp



◆言語学科ミニOB会 (東京教育大学昭和34~36年卒)

と き 平成28年6月27日(月)~28日(火)

ところ 住庄ホテル (日本橋小舟町)

今年は首都圏近郊で開かれる言語学科ミニOB会の4年目で、9名の参加だった。昭和34年卒4名、同35年卒3名、同36年卒2名という編成だったが、中には卒業後初めて57年ぶりの再会となる顔合わせもあって回顧談に花が咲いた。日程は6月27日(月)~28日(火)の1泊2日、会場は日本橋小舟町の住庄ホテル。来年は可能ならば新潟での開催を検討する。

(岩佐晴夫 35年卒 記)

◆東京教育大学体育学部 昭和51年卒業生「第2 回同窓会」

と き 平成28年7月31日(日)

ところ あべのハルカス：マリOTT都ホテル

2年前に東京で約束した「第2 回同窓会」を、日本一高いビル「あべのハルカス」で開催しました。北は青森、南は福岡より40名が参集し、思い出話、セカンドライフ話などで盛り上がり、約5時間にわたる「大宴会」となりました。

次回は3年後東京で開催することを決定し「お開き」となりました。

(実行委員長：北 克則)



追悼録 (敬称略)

辰野 千壽 筑波大学名誉教授 28・1・20
〒176-0012 練馬区豊玉北4-29-7 妻 辰野 貞
山口 久雄 13文二 28・6・14
〒939-0287 射水市赤井60-4 娘 山口久美子
西澤 秀正 14文図講習所 28・5・22
〒355-0031 東松山市五領町10-1 妻 西澤 康子
池田 喜助 17臨数 28・7・13
〒923-0965 小松市串町21-1 孫 池田 憲昭
宮口 春雄 18大教 28・6・7
〒960-8141 福島市渡利字中角11-1 妻 宮口 文枝
玉木 天酬 20文五 28・6・25
〒664-0855 伊丹市御願塚3-11-5 長女 林 ゆかり
栗野 正男 20体専 28・5・9
〒010-0833 秋田市旭川新藤田東町4-11 兄 栗野 馨
長谷川節三 23大漢 28・8・15
〒175-0084 板橋区四葉1-4-12 長男 長谷川克行
北島 康令 23体 28・6・17
〒814-0144 福岡市城南区梅林5-27-3 妻 北島ソデノ
高橋 浩一 24大物 28・7・16
〒176-0024 練馬区中村3-38-10 妻 高橋 好子
尾科 重 24理二 28・4・20
〒243-0813 厚木市妻田東2-15-16-102 長女 柏木寿美子
根本 義弘 24体 28・5・27
〒313-0004 常陸太田市馬場町663 長男 根本 聡
田中丈比古 26理一 28・5・4
〒805-0022 北九州市八幡東区竹下町8-7 妻 田中ナツノ
野崎 鐵雄 27農教 28・8・2
〒953-0042 新潟市西蒲区赤館308-1 妻 野崎美代子
中村 威 28大國史 28・1・29
〒300-0034 土浦市港町3-30-23-225 長男 中村 聡

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

今川 康孝 28教大動 28・7・22
〒350-1109 川越市霞ヶ関北3-6-2 妻 今川紀美子
長谷川芳男 30教大哲 26・9・23
〒170-0003 豊島区駒込3-20-12-902 妻 長谷川嘉江
中田 保 32教大英 28・3・27
〒185-0031 国分寺市富士本3-18-8 妻 中田有智子
高橋 俊司 32教大農経 27・10・26
〒187-0004 小平市天神町1-350-1 妻 高橋 淑子
倉持守三郎 32教大体 28・4・11
〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎3-10-1 妻 倉持 廣子
小田 潤 33教大倫 28・6・22
〒300-0874 土浦市荒川沖西2-1-1-503 妻 小田 治代
上平 慶治 34教大東史 28・7・10
〒386-0002 上田市住吉281-13 妻 上平 友子
山本 直彦 36教大日史 28・4・6
〒289-0611 香取郡東庄町新宿663-3 妻 山本 悦子
佐藤志津子 36教大健 28・6・22
〒167-0052 杉並区南荻窪3-4-7 次男 佐藤 公之
高尾 忠一 39教大健 28・3・3
〒466-0815 名古屋市昭和区山手通5-35-1 妻 高尾 典子
高橋 圭三 41研 27・9・8
〒185-0031 国分寺市富士本2-29-35 長男 高橋 道生
早坂 功 42教大工芸 27・11・2
〒990-0014 山形市滑川2047-115 妻 早坂 牧子
木村 清志 44教大地 28・6・6
〒399-3103 下伊那郡高森町下市田4035 妻 木村 静江
宮本 和弘 04筑修理 27・12・24
〒300-1152 稲敷郡阿見町荒川本郷1277-3 父 宮本 弘之
酒井 タ子 09筑三社工 28・7・1
〒434-0012 浜松市浜北区中瀬171-1 父 酒井 満智



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当：上席執行役員人事部長 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究所修了)

☆24時間営業

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

広報

「平成28年度茗溪会賞」(社会貢献功労者)

日時 平成28年11月26日(土)

11時30分～14時30分

◇顕彰式 11時30分～ マルチメディアルーム

◇祝賀会 12時30分～ 大学会館レストランプラザ

第4回東京都茗溪会 総会・講演会・交流会

日時 平成28年11月27日(日) 14時～18時30分

場所 茗溪会館

講演 山口 香氏「コーチングの力」

会費 五千円

会費のクレジットカード取扱い開始のお知らせ

これから茗溪会の会費のクレジットカード払いを開始することになりました。詳細は本季刊誌同封の案内書をご覧ください。

今年から茗溪・筑波グラントフェスティバルは取りやめとなりました。

「ご寄付をいただきました」

東京教育大学理学部数学科(昭和34年卒)の三四会の皆様から、7月28日に56,838円のご寄付をいただきました。ご意向に従って、茗溪会の事業に有効に活用させていただきます。有り難うございました。

「筑波大学新聞」10月号を同封します

昨年に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

公益財団法人 柴田育英会だより

茗溪会元理事長の柴田周吉氏が設立した柴田育英会の「奨学生懇談育成会」が、10月2日(日)奨学生7名、奨学生OB5名、役員13名の参加をもって、茗溪会館内「嘉ノ雅茗溪館」で開催されました。

訂正

前号(平成28年夏号)で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P 26 春の瑞宝小綬賞ご氏名(敬称略)

(正) 芝崎 茂夫 (誤) 柴崎 茂夫

追記

P 26 春の瑞宝小綬賞ご氏名(敬称略)

奥井 保正 43教大心理(千葉)

中山 慶一 43教大数学(富山)

岩見 恒典 35教大健 (愛知)

表紙の言葉 デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

筑波大学ギャラリーは平成19年7月にオープンした。既存の朝永振一郎記念室を核に、同じくノーベル賞受賞者、白川秀樹先生や江崎玲於奈元学長の業績展示、オリンピックをはじめ世界で活躍した本学出身のアスリートたち、さらに石井コレクションから厳選された芸術作品まで展示されている。もちろん、附属学校も含む筑波大学の概要がつかめる展示もある。本誌表紙の写真は、スポーツ関連のコーナーである。正面には嘉納治五郎の写真と「自他共栄」の書が見える。

ところで、ギャラリーに児童の姿は珍しいが、夏休みに研究所等をめぐるスタンプラリー「つくばちびっ子博士2016」に参加中の母子で、撮影に協力して頂いた。なお、ギャラリーの展示に関する基本計画は当時の吉武博道副学長と小生が、関係者の意見を聞きつつまとめたものである。

(<http://www.tsukuba.ac.jp/>)

編集後記

・この夏、新聞、テレビ、ラジオ、ネットはリオのオリンピックとパラリンピック一色の感がありました。その中で、四百メートルリレーでの日本選手の見事なバトンタッチが話題となりました。

・これまで季刊誌の編集を担当された高原 将氏に代わって、今号から私(前田三郎)が担当することとなりました。これもバトンタッチですが、こちらは何とか受取ったバトンを落とさないようにと必死です。どうぞよろしくお願い致します。

お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡下さい。
・年会費のお振込みは、早めをお願いいたします。

平成28年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

Email info@meikei.or.jp

URL <http://www.meikei.or.jp>

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

Email tsu3inu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

予告

次号(1092・正月号)

◆平成26年秋号(1087号)から始
まった「国立大学法人筑波大学附属
11校の紹介」特集も、次号の久里浜
支援学校と坂戸高校をもつて終了し
ます。

初回の冒頭にお書き下さった石隈
利紀先生に最終回のまとめをお願い
する予定です。

◆茗溪会賞のご紹介(顕彰式・受賞者)

◆公開講座のご報告も2件予定してい
ます。

8月27日に行われた守屋先生の
「嘉納治五郎と孔子祭典」と、
9月24日に行われた藤原先生の
「英語の難問に挑戦しませんか?」
その一」です。

◆秋の叙勲受章者のご紹介

◆その他

1092・正月号は平成29年1月15日
発行予定です。

 株式会社 阿部兄弟建築事務所
http://abeoffice.co.jp



〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル
代表取締役 荒井 豊人(昭和57
年 建築士)
TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3
TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信 洋

URL: http://www.juwa.com E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

聖徳大学 大学院

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬55

電話 047-365-1111(代表)

E-mail: akifuji@seitoku.ac.jp

言語文化 藤原 保明 (昭48教修英
研究科長 平3筑博文言)

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

http://tsukubaway.com/

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
2004年卒)



永井建設株式会社

〒273-0115 千葉県鎌ケ谷市東道野辺3-1-7
電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940

営業部長 高野 力 (昭48教大木工)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修にー

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から
茗溪会員とご家族に割引あり
研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室(120・40名)
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

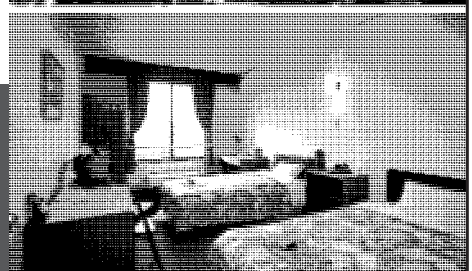
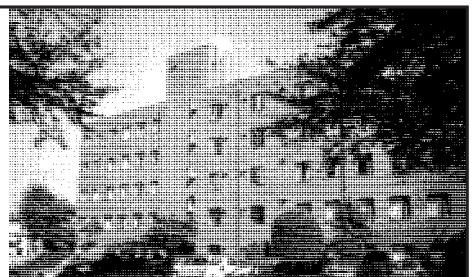
アクセス 秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス/「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分●つくば駅からタクシー/5分

一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

http://www.meikei.or.jp/~center e-mail: center@meikei.or.jp





あれもこれも、憧れが叶う。

一日一組、全館貸切

東京・文京区、結婚式場。

ご優待特典

〔ご婚礼〕

費用総額より5%引き

その他、期間限定プランなど、季節に応じた特典も多数ご用意しております。

〔お食事〕

飲食合計より10%引き

ご家族様、ご親族様もご利用可能。



かのび
嘉ノ雅
めいけい かん
茗溪館

Restraunt & Cafe ～レストラン・カフェのご利用も～ | ～パーティー・会議でのご利用も～ Party & Meeting

東京メトロ丸ノ内線

営業時間／11時～20時(火曜定休)

「茗荷谷」駅 徒歩1分 TEL.03-5319-1888

かのび

検索

独身ビジネスマンの結婚

受験・就職活動と同じように、
努力により結果を出せるフィールドです。

男性目線で気になる3点にしっかり応えます。

- ① 結婚の対象として納得できる女性会員
- ② 仕事と両立しての活動（独自の会員サイトを構築）
- ③ プライバシーへのきめ細かな配慮※

ご婚約

検索

ご結婚カップル&ご両親&スタッフの言葉。
真実を見極められる人への安心情報です。

信頼は確かな実績から。（ご結婚カップルの一部です）

出身大学	勤務先	出身大学	勤務先	出身大学	勤務先
▲筑波大	商業	▲筑波大	教育	▲筑波大	情報通信
♥大妻女子大	保険	♥立教大	不動産	♥東京家政学院大	商業
▲筑波大・院	建設	▲東京理科大	情報通信	▲筑波大	電気機器
♥学習院大	精密機器	♥筑波大	医療	♥中央大	倉庫・運輸
▲筑波大	金融	▲筑波大・院	非鉄金属	▲筑波大	海運
♥フェリス学院大	化学	♥帝京大	電気機器	♥立教女学院短大	輸送用機器
▲筑波大	輸送用機器	▲筑波大	金融	▲筑波大・院	化学
♥上智大	地方官庁	♥成城大	建設	♥早稲田大	金融

※平成28年1月、財団法人日本情報経済社会推進協会様より、プライバシーマーク遵守に高い評価をいただき、名誉ある「感謝状」を授与されました。

キュービッドは慶應義塾大学OB会の親睦パーティから発足して36年。結婚を誠実にお考えの方限定の会員制クラブです。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽に請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



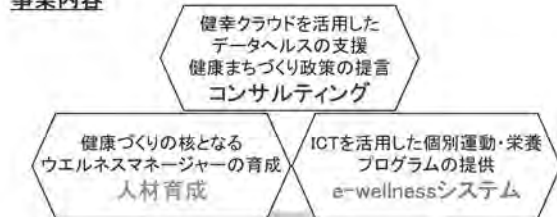
結婚を誠実に考える人の会員制クラブ
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp



「日本全国を元気にする！」
超高齢化社会に伴う健康課題に対して、
筑波大学の研究成果に基づく健康サービスを提供しています。

事業内容



地域の健康度の改善
医療費の適正化

ビジネスモデル



株式会社つくばウェルネスリサーチ <http://www.twr.jp/>
〒277-8519 千葉県柏市若柴178番地4 KOIL505
Tel: 04-7197-2360 Fax: 04-7197-2361

■採用情報：新卒・中途採用など様々な人材を求めています！詳細はHPをご覧ください



桜美林大学
J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群 (2016 年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 三谷 高康
入試事務室相談役 川田 孝一 (昭 39 教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ共同)
¥ 6,500→平日¥ 4,800 休前日¥ 5,800

シングルA (バス・トイレ付)
¥ 8,200→平日¥ 6,200 休前日¥ 7,200

ツイン (バス・トイレ付)
¥13,800→平日¥ 9,800 休前日¥12,800

朝食バイキング ¥ 1,050→¥ 760

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1 番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7 出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2 出口
JR新宿駅より車 5 分

より徒歩 7 分



Living Together

共生をテーマに、
人と環境の理想的な未来を

◆新菱冷熱
www.shinryo.com

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
- ◆ 国際バカロレア (IB) 認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です



2017 年度茗溪学園入学試験日程

IBコース入試は1月28日高校一般入試
中学グローバルコースAO入試11月26日他
12月23日(金) 中学推薦、海外枠(中学・高校)
1月 8日(日) 中学一般第1回
1月 9日(月) 高校推薦
1月28日(土) 中学一般第2回、高校一般
(詳細は下記メールでお問い合わせ下さい)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)